



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場取引所 東

上場会社名 大成ラミック株式会社

コード番号 4994 URL <http://www.lamick.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 義成

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長

(氏名) 中島 宏明

TEL 0480-97-0224

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,508	—	995	—	1,049	—	682	—
26年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 752百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	109.89	—
26年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	24,144	13,591	56.3	2,189.19
26年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 13,591百万円 26年3月期 一百万円

(注) 平成27年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値については、記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	33.00	—	37.00	70.00
27年3月期	—	33.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	37.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,200	—	1,420	—	1,420	—	900	—	144.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については、記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	6,300,000 株	26年3月期	6,300,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	91,732 株	26年3月期	91,698 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	6,208,289 株	26年3月期3Q	6,208,370 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成27年3月期第1四半期より連結決算へ移行いたしました。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策により企業収益や雇用情勢が改善するなど輸出企業を中心に緩やかな回復基調となりました。一方で、円安に伴う物価上昇や新興国の経済成長の鈍化など、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当軟包装資材業界におきましては、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化やエネルギーコストの上昇等から、各社とも厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループのビジネスモデルである包装フィルムと液体充填機械を提供する体制のもと、販売面では液体充填機「DANGAN」シリーズ初のミドルレンジモデルとして「DANGAN ASTRON」を発売するとともに、国内外の食品及び化粧品業界等に対し、積極的な営業活動に取り組んでまいりました。また、生産面では作業改善及び内製化の推進により原価低減に努めてまいりました。

その結果、売上高は155億8百万円、営業利益は9億95百万円、経常利益は10億49百万円、四半期純利益は6億82百万円となりました。

#### [包装フィルム部門]

国内市場においては消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動が長期化したものの、化粧品関連の販売促進用商品が好調に推移いたしました。また、海外市場においては北米・韓国を中心とした食品関連商品が堅調に推移いたしました。

その結果、包装フィルム部門の売上高は144億84百万円となりました。

#### [包装機械部門]

国内市場においては展示会への出展及び新規顧客の開拓等、積極的な営業活動に努めてまいりましたが、消費税率の引き上げに伴う反動の影響等により弱含みで推移いたしました。また、海外市場においては営業活動の強化が徐々に実を結び、北米・韓国を中心とした食品関連商品が好調に推移いたしました。

その結果、包装機械部門の売上高は10億24百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は241億44百万円となりました。

流動資産合計は132億92百万円となり、その主な内訳は、受取手形及び売掛金が62億64百万円、現金及び預金が46億14百万円、商品及び製品が15億4百万円となっております。

固定資産合計は108億51百万円となり、その主な内訳は、土地が34億59百万円、建物及び構築物(純額)が40億51百万円、機械装置及び運搬具(純額)が18億22百万円となっております。

#### ②負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は105億53百万円となりました。

流動負債合計は61億59百万円となり、その主な内訳は、買掛金が36億65百万円、1年内返済予定の長期借入金が10億11百万円となっております。

固定負債合計は43億94百万円となり、その主な内訳は、長期借入金が36億74百万円、退職給付に係る負債が5億36百万円となっております。

#### ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は135億91百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金が83億75百万円、資本剰余金が28億96百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、非連結子会社でありましたTaisei Lamick USA, Inc. 及び株式会社グリーンボックスの重要性が高まったため、平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)第1四半期より、連結決算に移行いたしました。

連結業績予想につきましては、現時点において平成26年11月4日付「平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の通期予想から変更はございません。

連結子会社

(海外連結子会社)

社名：Taisei Lamick USA, Inc.

所在地：米国イリノイ州シカゴ

主な事業：包装フィルム及び機械等の販売、メンテナンスサービス

(国内連結子会社)

社名：株式会社グリーンボックス

所在地：埼玉県白岡市

主な事業：包装フィルム原材料、製品等の運送及び管理

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の見直しを行い、割引率の決定方法について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が12,003千円増加し、退職給付に係る資産が12,003千円、利益剰余金が15,628千円それぞれ減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成26年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,614,500
受取手形及び売掛金	6,264,762
商品及び製品	1,504,878
仕掛品	505,457
原材料及び貯蔵品	180,404
その他	222,808
流動資産合計	13,292,812
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	4,051,931
機械装置及び運搬具(純額)	1,822,010
土地	3,459,412
その他(純額)	459,292
有形固定資産合計	9,792,647
無形固定資産	388,290
投資その他の資産	
退職給付に係る資産	153,349
その他	528,201
貸倒引当金	△10,732
投資その他の資産合計	670,818
固定資産合計	10,851,756
資産合計	24,144,569



(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成26年12月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	3,665,110
1年内返済予定の長期借入金	1,011,696
未払法人税等	38,843
賞与引当金	164,574
役員賞与引当金	19,875
株主優待引当金	43,783
その他	1,215,264
流動負債合計	6,159,147
固定負債	
長期借入金	3,674,710
役員退職慰労引当金	36,091
退職給付に係る負債	536,583
その他	146,948
固定負債合計	4,394,334
負債合計	10,553,481
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,408,600
資本剰余金	2,896,075
利益剰余金	8,375,124
自己株式	△209,650
株主資本合計	13,470,149
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	59,201
為替換算調整勘定	22,783
退職給付に係る調整累計額	38,953
その他の包括利益累計額合計	120,938
純資産合計	13,591,087
負債純資産合計	24,144,569

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	15,508,963
売上原価	12,235,469
売上総利益	3,273,493
販売費及び一般管理費	2,278,203
営業利益	995,290
営業外収益	
受取利息	2,783
受取配当金	5,065
物品売却益	13,319
受取補償金	6,167
為替差益	42,014
雑収入	5,603
営業外収益合計	74,953
営業外費用	
支払利息	12,877
売上割引	1,286
支払補償費	6,541
雑損失	394
営業外費用合計	21,099
経常利益	1,049,143
特別損失	
固定資産除却損	14,733
リース解約損	1,238
特別損失合計	15,972
税金等調整前四半期純利益	1,033,171
法人税、住民税及び事業税	289,952
法人税等調整額	60,975
法人税等合計	350,928
少数株主損益調整前四半期純利益	682,243
四半期純利益	682,243

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益		682,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		47,721
為替換算調整勘定		22,530
退職給付に係る調整額		380
その他の包括利益合計		70,632
四半期包括利益		752,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		752,876
少数株主に係る四半期包括利益		—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、液体包装フィルム及び液体充填機の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。